

令和4年度第3回育親中学校ブロック協議会 議事録要旨

■日時

令和4年8月18日（木）午後7：00～午後8：30

■会場

育親中学校 1階 視聴覚室

■議事

- 1 開会
- 2 育親中学校ブロックの新たな学校づくりについて
～ 令和6年4月の義務教育学校開校に向けて ～
- 3 閉会

■意見交換等発言内容

座長 (教育総務課長)	次第に沿い、「育親中学校ブロックの新たな学校づくりについて、令和6年4月の義務教育学校開校に向けて」を事務局から説明いただきたい。 <事務局説明> ・資料に基づき教育委員会において「亀岡市立育親学園」を最終校名候補として選定したことの報告。 ・令和6年4月に現在の育親中学校校舎を活用し、義務教育学校を開校すること。グラウンド側に校舎を新設し、児童生徒の学びの継続を行っていくことの変更案を説明。また、この変更案をもって9月の関連する条例改正の提案を進めることとするものの報告。 ・本梅小学校及び育親中学校の航空写真をプロジェクターで投影し説明。
座長	事務局からの説明について、何か質問・意見があればお願いしたい。
委員	個人的には児童生徒の学習する場所としては、変更となったものの、児童生徒のため、よりよい方向になったのではないかと感じている。これまでは校名がまだ最終候補として示されていなかったが、本日の報告で「亀岡市立育親学園」で進めていくとあった。「育親」と改めて示されると、令和6年、7年に本梅小学校の場所において後期課程の生徒たちが卒業するのではなく、この育親中学校の場所で卒業ができるということがよいのではないかと思う。ただ、これまでの説明会等で令和6年、7年の児童生徒が学習する校舎の場所は、現在の本梅小学校であるとの説明であり、地域としても住民にアナウンスしてきたが、今後、こういった形

	で周知を図っていくか。また、新校舎を建設し、現在の校舎を除却し、グラウンド整備の完成までにはどれぐらいの期間がかかるのか。
事務局	除却に1年はかからないが、新校舎の完成時期にもよるため現在のところ、はっきりした時期は申し上げられない。
委員	地域としては、全ての工事等が終了した際、完成式などができればとも考えている。
事務局	住民への説明等については、現在のところ議会提案を行い、条例改正の結果をもとに説明ができればと考えているがどうか。
委員	既に住民は、説明会、新聞報道、全戸配付のチラシ等で本梅小学校において、義務教育学校がスタートすると認識しているため、議会への提案内容を再度、全戸配布のチラシをもって報告する形をとるのがよいのではないかと。また、校名候補の最終選定も併せてお知らせする方がよい。
事務局	配付の時期を含めて事務局としては一旦持ち帰らせていただく。全戸配付ということであれば、自治会のご協力をいただきたく、また相談させていただきたい。
委員	宮前町や東本梅町の保護者については、「育親学園」への通学方法が一番の関心事だと思う。どの地域からバス通学になるのか、保護者の不安解消を図る上でも「概ねこの地域から…」などの情報を伝えることも必要だと思う。
事務局	教育委員会としては、兼ねてから徒歩通学は4km以内としてきている。バスがどの地域からどのルートで走行させるのかは、今後調整会議のグループにおいても検討をしていき、ブロック協議会でもご意見をいただきたい。
委員	児童生徒のためによりよい教育環境の整備に一層尽くしていただけるのであれば基本的には、よいと思う。しかし、児童生徒の安全確保の観点からも校舎への進入路については、整備が必要と考える。また、児童生徒が主に通学する際に使用する階段についても、補修等が必要であると思うため、何らかの対処をお願いしたい。
事務局	また、教職員、保護者等が利用する駐車場についても考慮してほしい。 事務局としても、児童生徒の安全確保のため、通学路・階段には何らかの対処は必要と考えている。駐車場については、他の学校とのバランスもあり、必要分の確保は難しい状況である。
委員	新しい義務教育学校については、体育館も含め全体の施設整備の充実を図っていただきたい。
事務局	体育館も含め、施設整備の充実を図っていきたいと考えている。
委員	令和6年に義務教育学校をスタートする際、現育親中学校に給食設備の配膳室等の設置等が新たに必要とのことだが、同じ建物内または隣接するところでの工事ということで、騒音等、学習環境に影響が出ないか、また、生徒の安全対策を万全にしてほしい。
事務局	これまでの工事の実績から、できるだけ生徒の長期休業期間を利用するなど、学習環境への配慮はしなければならないと考えている。
委員	本日、視察に伺った「京都大原学院」は校舎を有効活用して非常により形で学校が運営されていた。新しい校舎ももちろんありがたいことだが、教育のどこにお金

	をかけるのかも重要と考える必要があり、児童生徒によりよい教育環境の継続性を整えるための令和6年と令和7年の体制整備は非常に重要だと思う。そこにも、必要な予算の確保はお願いしたい。
事務局 委員	地域住民からも、以前の説明会でそういったご意見も頂戴したところである。これまで地域とともに取り組んできた経過を踏まえると時期はいつにするかはあ ると思うが、一定住民に情報提供は必要と考える。また、児童生徒にも、説明する ことも必要だと思う。その際、どういう反応であったかはまた機会を通じて報告も お願いしたい。
事務局	学校とも連携し、児童生徒への説明も行っていく。また、ブロック協議会でも報告 したいと考えている。
委員	本梅小学校の現6年生は、卒業式を2回本梅小学校で行うこととなるような案 だったため、現育親中学校になると場所が変更になるので、また子どもたちの反 応も幾分かあると思う。地域とともに新たな学校づくりに取り組んできたこれまで の経過も踏まえ、地域住民には何らかの説明は必要と考える。しかし、子どもたち に混乱の起こらない形で時期や説明としてほしい。また、部活動や運動会など グラウンドを使用するような行事の対応はどうするのか。
事務局 委員	新校舎の建設場所にもよるが、広さとしては余裕はあると考えている。 住民への周知用のチラシについては、全戸配付の方向で進めてほしい。時期等 については、別途調整してほしい。
委員	次回のこのブロック協議会はいつ頃の開催を考えているのか。
事務局	9月議会休会(議決)後に状況も含めブロック協議会や調整会議を開催し、引き 続き、取り組みを進めていく考えである。
座長	委員のみなさまには、日程等ご無理を申し上げることもあろうかと思うが、よろし くお願いしたい。 以上で本日の会議を終了する。